



2020年10月23日

各位

上場会社名 株式会社 ウィザス
 代表者
 代表取締役社長 生駒 富男
 (コード番号9696)
 問合せ先責任者
 取締役統括支援本部長 赤川 琢志
 (TEL 06-6264-4202)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	-	-	-	-	-
今回発表予想(B)	16,000	500	700	150	15.75
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
参考) 前期実績 (2020年3月期)	17,592	1,407	1,473	325	34.23

2. 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が今期末に向けて、冬の到来による再拡大が危惧されるなか、当社グループの業績に与える影響について合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は国内外の経済活動も徐々に再開され始めているものの、景気回復は緩やかな基調であり前年度を下回る水準になるものと見通しております。このような状況の中で、現時点において入手可能な情報の分析及び予測に基づいて通期業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

学習塾事業部門におきましては、新入会生獲得のピークである3月に「臨時休校措置宣言」、加えて、4月には「緊急事態宣言」も発令され、消費マインドの冷え込みも含め、厳しい状況でのスタートとなりましたが、顧客のニーズを迅速かつ的確に捉え、オンライン指導へのスムーズな切替え、6月よりは対面授業の全面再開、また、夏期特別講習会を経て生徒数は回復基調となっております。しかしながら、期初での生徒募集における影響は期末まで大きく与えるものと想定しており、業績は前年度を下回る水準と予測しております。

高校・キャリア支援事業におきましては、特に日本語学校を運営いたしますグループ子会社において、新型コロナウイルス感染症拡大により、現在も継続しております出入国規制により留学生の入国が困難と

なっており、影響を大きく受けております。当該状況は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の危惧もあり、まだ当面続くものと想定しており、業績は前年度を下回る水準と予測しております。

また、一部子会社において新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド激減の影響を大きく受けている子会社もあり、このような状況から当期末連結業績につきましては前年度を下回る水準と予測しております。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 配当予想について

2021年3月期配当予想

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	-	-	-	-	-
今回発表予想	-	6.00	-	10.00	16.00
(参考)前期実績 (2020年3月期)	-	6.00	-	10.00	16.00

4. 配当予想の理由

2021年3月期の通期業績予想が未定であったことより、配当予想につきましても未定としておりました。当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考えており、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保資金を確保しつつ、継続的な配当による株主への利益還元を積極的に行うことを基本方針としております。

上記のような方針のもと、当期末業績予想につきましては厳しい状況ではございますが、配当につきましては前期と同じく、1株当たり年間16円を予定しております。

以上